

平成24年度 学園の決算について

平成24年度決算が、平成25年5月21日開催の理事会で承認・確定されました。以下、計算書類の内容の概要を説明します。
(詳細については、学園ホームページをご覧ください)

●資金収支計算書 平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位:円)

| 収入の部 | | | | 支出の部 | | | |
|------------|-----------------|-----------------|---------------|-----------|----------------|----------------|---------------|
| 科目 | 平成24年度決算 | 平成23年度決算 | 増減 | 科目 | 平成24年度決算 | 平成23年度決算 | 増減 |
| 学生生徒等納付金収入 | 5,429,704,683 | 5,462,493,433 | △ 32,788,750 | 人件費支出 | 3,596,779,319 | 3,674,127,638 | △ 77,348,319 |
| 手数料収入 | 110,656,540 | 98,138,800 | 12,517,740 | 教育研究経費支出 | 1,221,269,338 | 1,181,540,959 | 39,728,379 |
| 寄付金収入 | 156,315,970 | 165,532,000 | △ 9,216,030 | 管理経費支出 | 701,780,216 | 671,688,352 | 30,091,864 |
| 補助金収入 | 820,921,674 | 723,560,999 | 97,360,675 | 施設関係支出 | 753,148,757 | 349,851,992 | 403,296,765 |
| 資産運用収入 | 37,555,744 | 43,816,383 | △ 6,260,639 | 設備関係支出 | 251,132,253 | 109,367,420 | 141,764,833 |
| 事業収入 | 118,211,530 | 119,754,300 | △ 1,542,770 | 資産運用支出 | 4,101,190,000 | 2,431,640,000 | 1,669,550,000 |
| 雑収入 | 137,575,295 | 204,805,358 | △ 67,230,063 | その他の支出 | 6,519,646,738 | 6,573,818,283 | △ 54,171,545 |
| 前受金収入 | 1,316,160,000 | 1,230,868,000 | 85,292,000 | [予備費] | | | |
| その他の収入 | 9,622,675,356 | 8,226,208,361 | 1,396,466,995 | 資金支出調整勘定 | △ 144,967,110 | △ 120,111,449 | △ 24,855,661 |
| 資金収入調整勘定 | △ 1,480,775,848 | △ 1,515,261,060 | 34,485,212 | 次年度繰越支払資金 | 6,957,426,149 | 7,688,404,716 | △ 730,978,567 |
| 前年度繰越支払資金 | 7,688,404,716 | 7,800,611,337 | △ 112,006,621 | 支出の部合計 | 23,957,405,660 | 22,560,327,911 | 1,397,077,749 |
| 収入の部合計 | 23,957,405,660 | 22,560,327,911 | 1,397,077,749 | | | | |

- 資金収支計算書は、消費収支計算書と同様、学校法人会計基準によって定められた計算書類のひとつで、一般の企業会計とは異なる学校法人会計固有の計算書類です。
- 資金収支計算書の目的は、第一に、その年度における教育研究活動、その他の諸活動に対応するすべての収入と支出の内容を明らかにすること、第二に、当年度における資金の収入及び支出のてん末を明らかにすることです。
- 平成24年度の収入の部合計は23,957,405,660円、一方、支出の部のうち人件費支出から資金支出調整勘定までの当年度の支出額の合計は、16,999,979,511円でした。その結果、次年度繰越支払資金は、6,957,426,149円となりました。前年度繰越支払資金が7,688,404,716円でしたので、平成24年度決算の支払資金は、平成23年度末と比べて730,978,567円(約9.50%)の減となりました。

●消費収支計算書 平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位:円)

| 消費収入の部 | | | | 消費支出の部 | | | |
|----------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|-------------|
| 科目 | 平成24年度決算 | 平成23年度決算 | 増減 | 科目 | 平成24年度決算 | 平成23年度決算 | 増減 |
| 学生生徒等納付金 | 5,429,704,683 | 5,462,493,433 | △ 32,788,750 | 人件費 | 3,542,279,675 | 3,525,704,781 | 16,574,894 |
| 手数料 | 110,656,540 | 98,138,800 | 12,517,740 | 教育研究経費 | 1,919,223,006 | 1,865,745,421 | 53,477,585 |
| 寄付金 | 163,864,489 | 171,285,243 | △ 7,420,754 | 管理経費 | 769,371,790 | 727,150,684 | 42,221,106 |
| 補助金 | 820,921,674 | 723,560,999 | 97,360,675 | 資産処分差額 | 26,061,384 | 685,402 | 25,375,982 |
| 資産運用収入 | 37,555,744 | 43,816,383 | △ 6,260,639 | 徴収不能額 | 5,722,000 | 8,029,000 | △ 2,307,000 |
| 事業収入 | 118,211,530 | 119,754,300 | △ 1,542,770 | [予備費] | | | |
| 雑収入 | 106,962,201 | 160,135,976 | △ 53,173,775 | 消費支出の部合計 | 6,262,657,855 | 6,127,315,288 | 135,342,567 |
| 帰属収入合計 | 6,787,876,861 | 6,779,185,134 | 8,691,727 | 当年度消費支出超過額 | 274,445,419 | | |
| 基本金組入額合計 | △ 799,664,425 | △ 348,268,040 | △ 451,396,385 | 当年度消費収入超過額 | | 303,601,806 | |
| 消費収入の部合計 | 5,988,212,436 | 6,430,917,094 | △ 442,704,658 | 前年度繰越消費支出超過額 | 3,548,900,904 | 3,852,502,710 | |
| | | | | 翌年度繰越消費支出超過額 | 3,823,346,323 | 3,548,900,904 | |

- 消費収支計算書では、その年度における消費収入と消費支出の内容及びその均衡状態を明らかにすることを目的としています。消費収入は、学生生徒等納付金など、学校法人の負債とならない収入(帰属収入)から基本金組入額を控除して計算します。消費支出は、人件費、教育研究経費等、学校法人の諸活動に伴う支出のほか、減価償却額等資金の支出を伴わない支出も含まれます。
- 基本金は、学校法人会計固有の概念のひとつで、「学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきもの」とされています。これは、企業会計とは異なり、教育研究活動を継続的・安定的に提供することができるかどうかを示す学校法人会計固有の目的を達成するために要請される概念であると言えます。
- 平成24年度の帰属収入は、手数料、補助金は前年度を上回り、学生生徒等納付金、寄付金、資産運用収入、事業収入及び雑収入が前年度を下回ったため、帰属収入合計では、前年度より8,691,727円増の6,787,876,861円となりました。一方、基本金組入額が前年度を451,396,385円上回ったため、消費収入の部合計は、前年度より442,704,658円下回り、5,988,212,436円となりました。消費支出については、人件費が全体で前年度を16,574,894円、教育研究経費が53,477,585円、管理経費が42,221,106円、それぞれ上回りました。資産処分差額についても前年を25,375,982円上回りました。また、予備費50,000,000円は今年度も未執行でした。これらにより、消費支出の部合計は、前年度を135,342,567円上回り、6,262,657,855円となりました。以上のとおり、消費収入が予算額を上回り、消費支出がさらに予算額を下回った結果、当年度消費支出超過額は274,445,419円となりました。

●貸借対照表 平成25年3月31日現在

(単位:円)

| 資産の部 | | | | 負債・基本金・消費収支差額の部 | | | |
|----------|----------------|----------------|---------------|------------------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 | 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
| 固定資産 | 24,242,157,448 | 23,287,091,608 | 955,065,840 | 固定負債 | 1,628,622,449 | 1,652,194,642 | △ 23,572,193 |
| 有形固定資産 | 17,448,958,738 | 17,228,382,878 | 220,575,860 | 流動負債 | 1,571,653,251 | 1,463,081,570 | 108,571,681 |
| その他の固定資産 | 6,793,198,710 | 6,058,708,730 | 734,489,980 | 負債の部合計 | 3,200,275,700 | 3,115,276,212 | 84,999,488 |
| 流動資産 | 7,595,948,535 | 7,940,795,881 | △ 344,847,346 | 基本金の部合計 | 32,461,176,606 | 31,661,512,181 | 799,664,425 |
| 資産の部合計 | 31,838,105,983 | 31,227,887,489 | 610,218,494 | 消費収支差額の部合計 | △ 3,823,346,323 | △ 3,548,900,904 | △ 274,445,419 |
| | | | | 負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計 | 31,838,105,983 | 31,227,887,489 | 610,218,494 |

- 資産の部は、固定資産のうち、有形固定資産については、土地の購入、施設、設備の取得等により、1,025,436,886円増加した一方、減価償却及び除却等により、232,878,232円減少したため、全体で期末残高が792,558,654円増加しました。有形固定資産の期末残高より減価償却額の累計額を差引き、220,575,860円増加し17,448,958,738円となりました。また、その他の固定資産については、茗荷谷交通ビル敷金および特定資産への積立が主な要因となり、全体で734,489,980円増加し、6,793,198,710円となりました。流動資産については、全体で344,847,346円減少し、7,595,948,535円となりました。
- 負債・基本金・消費収支差額の部は、固定負債のうち退職給与引当金が23,572,193円減少しましたが、流動負債は前受金が85,292,000円、未払金が23,859,273円増加したことにより、負債の部合計は84,999,488円増加し、3,200,275,700円となりました。基本金の部は、第1号基本金が799,664,425円増加し、32,461,176,606円となりました。消費収支差額の部合計(翌年度繰越消費支出超過額)は、消費収支計算書における当年度消費支出超過額にあたる274,445,419円が増加となり、3,823,346,323円となりました。